

「西欧」各国での 比例代表制と政権交替

中 村 宏

は じ め に

1990年代における日本の政治改革は殆ど選挙制度改革に終始した感がないでもないが、一応それは二大政党制を目指すものとされていたのであり、政権交替のある政治によって政治腐敗の一掃を目指すものとされていた。第二次大戦後のいわゆる55年体制成立後での日本における政権交替は、1993年の自民党の政権喪失とその後の自民党の政権復帰による2回のみであろうから、38年間で2回、したがって20年間で1回程度ということにもなる。もっとも、このノートが考察の対象とする、いわゆる「西欧」諸国の経験からみて、政権交替の無さは必ずしも政治腐敗につながるものではないであろうが、日本で政権交替の問題に関心が向けられたのは無理からぬところであったろう。ただ、以下に考察するように、何を以て政権交替とするかは必ずしもはっきりしないところがある。

このノートではいわゆる「西欧」諸国に考察を限定する。旧「東欧」諸国はまだ自由な選挙を行なうようになって10年であり総括するには早過ぎよう。「西欧」諸国でもルクセンブルグなど人口100万人以下の国は除外する。

典型的な政権交替のある国ということになると、日本ではイギリスが念頭に置かれ、政治改革においてもモデルとされたのはイギリスであっ

た。イギリスでは、小選挙区相対多数制で下院の選挙が行なわれ、政権交替は戦後の50年余の間に6回行なわれている。

ただし、小選挙区制と政権交替の関連は必ずしも明瞭ではないであろう。カナダ、オーストラリア、ニュージーランド（近年、比例代表制に転換）はイギリス的な二大政党型の政権交替が見られてきたが、カナダもケベック州の地域政党の台頭とともに複雑な様相を呈している。アメリカは大統領制の国であり、議院内閣制の国とは同じように見ることは出来ない。アジアの小選挙区制を採る国では、インド、マレーシア、シンガポールなどでむしろ一党優位制的状況が常態的に見られてきた。

このノートでは、議院内閣制の諸国に限定して考察することにする（議院内閣制と言っても立憲君主制の国と実質的には象徴的な大統領を持つ共和制の国とでは若干の違いはあるが、ここではこの問題には踏み込まない）。したがって、第5共和制（半大統領制）下のフランスは除外する。第4共和制は期間が短いのでフランスは考察の対象とはしない（厳密に言えば、フィンランドを半大統領制的なものとしてみるのか議院内閣制としてみるのかといった論点もありうるがこの問題には踏み込まない）。したがって、議院内閣制を採る下記の「西欧」14ヶ国での政権交替を考察することになるが、これらの国は全て比例代表制で選挙を行っており、比例代表制下の議院内閣制での政権交替を考察することになる。具体的には以下の諸国である。

アイルランド、近年の選挙制度改革以前のイタリア、オーストリア、オランダ、民主化後のギリシャ、スイス、スウェーデン、民主化後のスペイン、デンマーク、ドイツ、ノルウェー、フィンランド、ベルギー、民主化後のポルトガル（あいうえお順）

表1 イギリスにおける政権交替

1945-51	労働党単独政権
1951-64	保守党単独政権
1964-70	労働党単独政権
1970-74	保守党単独政権
1974-79	労働党単独政権
1979-97	保守党単独政権
1997-	労働党単独政権

「西欧」各国での比例代表制と政権交替

比例代表制と言っても、拘束式か非拘束式か、選挙区の大きさ、当選阻止条項、その他各国によって色々な相違があるがここではそうした相違は考慮に入れずに考察することにする。

なお、「西欧」諸国以外で、議院内閣制と比例代表制を採る自由な選挙を長く行なっている国は、イスラエル、トルコなど少数に限られる。

以下のデータは、Statesman's Year-Book の各年版（2000年版まで）を基本とし、その外、多くのデータ集、研究書、邦訳、『選挙研究』各年度巻末の選挙データ等に依っている。データとしては1998年までを整理した。99年度は不揃いである。データの数が多く、思わぬ誤りもあろうかと思うが、各国の基本的な政権交替の傾向はこのいわば準備的ノートで示めせているものと思う。いずれ、稿を改めて、より包括的なものを作成したい。

類型 I

イギリス的な準二大政党的政権交替

(1) アイルランド

共和党（F F）単独政権と統一党（F G）＋労働党の連立政権による

表2 アイルランドの政権交替

1944-48	FF 単独
1948-51	FG（首相＋過半数閣僚）＋他の2小政党の連立
1951-54	FF 単独
1954-57	FG（首相＋過半数閣僚）＋他の2小政党の連立
1957-73	FF 単独
1973-77	FG（首相＋過半数閣僚）＋他の1小政党の連立
1977-81	FF 単独
1981-82	FG（首相＋過半数閣僚）＋他の1小政党の連立
1982-82	FF 単独
1982-87	FG（首相＋過半数閣僚）＋他の1小政党の連立
1987-89	FF 単独
1989-95	FF（首相＋過半数閣僚）＋他の1小政党の連立
1995-97	FG（首相＋過半数閣僚）＋他の2小政党の連立
1997-98	FF（首相＋過半数閣僚）＋他の1小政党の連立

表3 アイルランド下院の選挙結果（選挙制度は委譲式比例代表制）

	1951	54	57	61	65	69	73	77	81	82	82	87	89	92	97
FF	69	65	78	70	72	75	69	84	78	81	75	81	77	68	76
FG	40	50	40	47	47	50	54	43	65	63	70	51	55	45	54
労働	16	19	12	16	22	18	19	17	15	15	16	12	15	33	17
他の党計	22	13	13	9	3	1	2	4	8	7	5	22	19	20	18

二大政党的政権交替（例外的に他の連立形態もあるが全てFFかFGが中心）が行なわれている。FFが単独過半数を持つ単独政権がかなりある。5年に1回程度の政権交替

(2) ポルトガル

サラザール体制崩壊と民主化以後、社会民主党と社会党との間で二大政党的政権交替。5年に1回程度の政権交替

表4 ポルトガルの政権交替

1976-78	社会党単独（無所属閣僚を含む）
1978-78	社会党（首相+過半数閣僚）+ 1小政党連立
1978-80	非政党政権
1980-83	社会民主党（首相+過半数閣僚）+ 2小政党連立
1983-85	社会党（首相+過半数閣僚）+ 社会民主党の大連立
1985-85	社会党単独
1985-95	社会民主党単独（一時期1小政党と連立）
1995-98	社会党単独
注 1974-76に共産党系政権、多党連立政権あり	

表5 ポルトガルの選挙結果（一院制）

	1975	76	79	80	83	85	87	91	95
社会民主党	81	73	118	134	75	85	148	135	88
社会党	115	107	73	74	101	55	60	72	112
共産党	30	40	47	41	44	37	31	17	15
他の政党計	24	43	12	1	30	73	11	6	15

「西欧」各国での比例代表制と政権交替

(3) ギリシャ

軍政が終わり民主化（1974年）して以後、新民主党（ND）と社会運動（PASOC）による二大政党的政権交替。ただし、1989-90年の大連立政権への転換、また大連立政権からの転換をどう見るかは難しい。

表6 ギリシャの政権交替

1974-81	ND 単独
1981-89	PASOK 単独
1989-89	ND + 1 小政党の連立
1989-90	ND + PASOK + 1 小政党の大連立 首相は無所属
1990-93	ND 単独
1993-98	PASOK 単独政権

ギリシャは比例代表制であるが第一党に割増議席が付く制度で単独過半数政権が普通（その是非は別として、比例代表制の下でも、当選阻止条項やこうした割増議席を設けることにより、単独過半数政権も可能であり、大きな政党が二つであれば、二大政党による政権交替も可能であると思われる）。

軍政以前（1945-64）でも9回の総選挙のうち6回で第1党が単独過半数を獲得（ただし、当時の選挙制度の詳細未確認）。

表7 ギリシャの選挙結果（一院制）

	1974	77	81	85	89/6	89/11	90	93	96
社会運動	12	92	172	161	125	128	123	170	162
新民主党	220	173	115	126	145	148	150	111	108
左翼連合	8	11	13	13	28	21	19	9	11
他の政党計	60	24	0	1	2	3	8	10	19

（89年は6月と11月と2回総選挙）

(4) スペイン

フランコ体制崩壊と民主化以後、社会民主主義政党（PSOE）と国民党（PP）（UCDは国民党以前の保守系政党）とによる二大政党的政権交

替（ただし過半数議席を持たず地域政党と閣外協力）。政権交替10年に1回程度

表8 スペインの政権交替

1976-82	UCD 単独
1982-96	PSOE 単独（一時期1小政党と連立）
1996-98	PP 単独

表9 スペイン下院の選挙結果

	1977	79	82	86	89	93	96
PP	-	-	(106)	(105)	106	141	156
UCD	165	168	12	-	-	-	-
PSOE	118	121	202	184	175	159	141
共産党系	20	23	4	7	18	18	21
他の政党計	47	38	26	54	51	32	32

なお、スペインの地域政党は小選挙区制でも生き残るとされる。イギリス、カナダでも地域政党は存在し、指摘されているように地域政党が存在するところでは小選挙区においても典型的な二大政党的状況は生じない。82年と86年のPPの括弧内の議席数は現在のPPにつながる諸政党の議席数の合計。

(5) ドイツ

キリスト教民主同盟（CDU）（正確にはCDU／CSU）+小政党と社会民主党（SPD）+小政党とで二大政党的な政権交替。ただし、自由民主党がこの両党と連立を組んでいること、キリスト教民主同盟と社会

表10 ドイツ（西ドイツ）の政権交替

1949-66	CDU（首相+過半数閣僚）+他の1～3小政党の連立
1966-69	CDU（首相+過半数閣僚）+社民党の大連立
1969-82	SPD（首相+過半数閣僚）+自民党の連立
1982-98	CDU（首相+過半数閣僚）+自民党の連立
1998-	SPD（首相+過半数閣僚）+緑の党の連立

「西欧」各国での比例代表制と政権交替

民主党との大連立政権があること、これらによってイギリス型政権交替のようには明快な政権交替になっていない。政権交替は10年に1回程度
(下院の選挙結果は省略)

類型II

優位政党(単独あるいは中心)の政権とその他の政党(単独あるいは連立)との間での政権交替(ここでは三分の一以上程度の議席を有し第二党との議席が差が大きい政党を優位政党と仮に呼ぶことにする)。

(1) スウェーデン

社会民主党の単独政権と非社民連合の連立政権との間での政権交替。社会民主党の一党優位的状況(政権担当期間が通算で長くかつ単独政権が多い)にある。社会民主党は半数近い議席を持ち常に第一党であり、

表11 スウェーデンの政権交替

1945-76	社会民主党単独(一時期1小政党と連立)
1976-78	中央党などによる連立
1978-79	国民党単独
1979-82	中央党などによる連立
1982-91	社会民主党単独
1991-94	穏健統一党などによる連立
1994-98	社会民主党単独

表12 スウェーデンの選挙結果(一院制)

	1948	*	58	*	70	73	76	79	82	85	88	91	94	98
社会民主党	112		111		163	156	152	154	166	159	156	138	161	131
左党	8		5		17	19	17	20	20	19	21	16	22	43
中央党	30		32		71	90	86	64	56	43	42	31	27	18
自由	57		38		58	34	39	38	21	51	44	33	26	17
穏健統一党	23		45		41	51	55	73	86	76	66	80	80	82
他の政党計	0		0		0	0	0	0	0	1	20	51	33	58

(紙幅の都合上一部省略*)

第二党に50議席以上の大差をつけている。政権交替は10年に1回程度。

(2) ノルウェー

労働党単独政権と非労働党の多党連立政権との間での政権交替。労働党の政権担当期間が通算で約半分かつ単独政権。労働党と第二党との議席差は大きい。戦後の総選挙で全て労働党が第1党。1945-67年の7回の総選挙で全て単独過半数。

政権交替は5年に1回程度。

表13 ノルウェーの政権交替

1945-63	労働党単独
1963-63	労働党以外の諸政党の連立
1963-65	労働党単独
1965-71	労働党以外の諸政党の連立
1971-72	労働党単独
1972-73	キリスト教国民党+2政党(中央党+左党)の連立
1973-81	労働党単独
1981-83	右党の単独
1983-86	右党(首相+過半数閣僚)+2政党(キリスト教国民党+中央党)連立
1986-89	労働党単独
1989-90	右党(首相+半数未満の閣僚)+2政党(83-86と同じ)の連立
1990-97	労働党単独
1997-98	キリスト教国民党+2政党(中央党+左党)の連立

(左党は下表14での社会左党とは別の自由主義政党)

表14 ノルウェーの選挙結果(一院制)

	1945	*	57	*	69	73	77	81	85	89	93	97
右党(保守党)	25		29		29	29	41	54	50	37	28	23
中央党	10		15		20	21	12	11	12	11	32	11
キリスト教国民党	8		12		14	20	22	15	16	14	13	25
進歩党	-		-		-	4	0	4	2	22	10	25
労働党	76		78		74	62	76	65	71	63	67	65
社会左党	-		-		0	16	2	4	6	17	13	9
他の政党計	31		16		13	3	2	2	0	1	2	7

(紙幅の都合上一部省略*)

「西欧」各国での比例代表制と政権交替

(3) デンマーク

社会民主党単独（例外的に＋小政党）と非社民の多党連立政権との間での政権交替。戦後20回の総選挙で全て社会民主党が第1党。15回で議席差20以上。4回単独過半数。政権交替は5年に1回程度。

表15 デンマークの政権交替

1945-47	非社民連立および左党による単独
1947-50	社会民主党単独
1950-53	非社民連立
1953-68	社会民主党（単独も連立もあり）
1968-71	非社民連立
1971-73	社会民主党単独
1973-75	左党による単独
1975-82	社会民主党単独（一時期1小政党との連立）
1982-93	非社民連立
1993-	社会民主党連立

表16 デンマークの政権交替（2）

	首相	SD	KF	RV	V	RFB
1945-45	SD	4	2	1	2	
1945-47	V				A11	
1947-50	SD	A11				
1950-53	V		6		7	
1953-57	SD	A11				
1957-60	SD	10		4		3
1960-64	SD	11		5		
1964-68	SD	A11				
1968-71	RV		6	8	8	
1971-73	SD	A11				
1973-75	V	14			A11	
1975-78	SD	A11				
1978-79	SD	14			7	
1979-82	SD	A11				
1982-93	KF	KF + Vの連立（一時期他の小政党が参加）				
1993-	SD	SD + RVの連立（一時期他の小政党が参加）				

上表で、SDは社会民主党、KFは保守国民党、RVは急進左党、Vは左党（自由主義政党）RFBは公正同盟

表17 デンマークの選挙結果（一院制）

	1945	*	60	*	71	73	75	77	79	81	84	87	88	90	94	98
社会民主党	48		76		70	46	53	65	68	59	56	54	55	69	62	63
左党	38		38		30	22	42	21	22	21	22	19	22	29	42	42
保守国民党	26		32		31	16	10	15	22	26	42	38	35	30	27	16
急進左党	11		11		27	20	13	6	10	9	10	11	10	7	8	7
進歩党	—		—		—	28	24	26	20	16	6	9	16	12	11	4
社会主義人民党	—		11		17	11	9	7	11	20	21	27	24	15	13	13
他の政党計	25		7		0	32	24	35	22	24	18	17	13	13	12	30

他の政党計はグリーンランド代表2名、フェロー諸島代表2名を除く。
 （紙幅の都合上一部省略＊）

類型III

大連立政権が常態であるために政権交替がないかあるいは
 少ない類型

(1) スイス

1947年以後、自由民主党（FDP）、社会民主党（SPS）、キリスト
 教民主国民党（CVP）、スイス国民党（SVP）の4党による大連立政
 権が継続。ただし、一時期は3政党による大連立。政権交替はないとい
 うべきであろう。

表18 スイスの政権交替

1947-53	4政党の大連立
1953-59	FDP + CVP + SVPの3政党大連立
1959-	4政党の大連立

表19 スイスの選挙結果（下院）

	1947	51	55	59	63	67	71	75	79	83	87	91	95
FDP	52	51	50	51	51	49	49	47	51	54	51	44	45
SPS	48	49	53	51	53	51	46	55	51	47	41	41	54
CVP	44	48	47	47	48	45	44	46	44	42	42	36	34
SVP	21	23	22	23	22	21	23	21	23	23	25	25	29
他の政党計	29	25	24	24	26	34	38	31	31	34	41	54	38

「西欧」各国での比例代表制と政権交替

(2) オーストリア

社会民主党と人民党の二党制的状況であるが、この両党の大連立政権の時期が長くその間に、社会民主党、人民党、それぞれの単独政権の時期がある。大連立政権から単独政権への転換が政権交替であるのかどうか判断しがたいところがあるが、いずれにせよ、政権交替は10年に1回もない。社会民主党と人民党のいずれかが単独過半数を獲得していることも多い。

表20 オーストリアの政権交替

1945-47	社会民主党と人民党、共産党の3党大連立
1947-66	社会民主党と人民党の大連立
	注 首相は人民党 両党の閣僚数はどの政権でもほぼ同数
1966-70	人民党単独
1970-83	社会民主党単独
1983-87	社会民主党（首相+過半数閣僚）+ 1小政党の連立
1987-99	社会民主党と人民党の大連立
	注 首相は社会民主党 両党の閣僚数はどの政権でもほぼ同数

表21 オーストリア下院の選挙結果

	1945	49	53	56	59	62	66	70	71	75	79	83	86	90	94	95
人民党	85	77	74	82	79	81	85	78	80	80	77	81	77	60	52	52
社民党	76	67	73	74	78	76	74	81	93	93	95	90	80	80	65	71
自由党	-	16	14	6	8	8	6	6	10	10	11	12	18	33	42	41
他党計	4	5	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	8	10	24	19

(2000年に人民党と自由党との連立政権成立)

類型IV

優位政党の連立相手が替わる形で連立政権が変化するが政権交替したとは言い難い類型

(1) イタリア

およそ50年間に渡って政権交替のない状況が継続。キリスト民主党の一方優位制的状況でこのキリスト教民主党と連立を組む小政党が替わっていく。左の共産党と右のネオファシスト政党は政権から排除されてい

るために、必然的にキリスト教民主党中心の政権になっていた。1994年まででは、政権交替はなかったといえよう。

表22 イタリアの政権交替

1946-94	キリスト教民主党（首相+過半数閣僚）+ 2～4小政党連立 例外的にキリスト教民主党の単独政権、他党からの首相あり
---------	---

表23 イタリアの選挙結果（下院）

	1946	48	53	58	63	68	72	76	79	83	87	92
キリスト教民主党	207	305	263	273	260	266	266	263	261	225	234	206
社会党	115	52	75	84	87	(91)	61	57	62	73	94	92
共和党	23	9	5	6	6	9	15	14	15	29	21	27
自由党	41	19	13	17	39	31	20	5	9	16	11	17
社民党	—	33	19	22	33		29	15	21	23	17	16
共産党	104	131	143	140	166	177	179	227	201	198	177	107
ネオファシスト系	46	20	69	49	35	30	56	35	31	42	35	34
他の政党計	20	5	3	5	4	26	4	14	30	24	41	131

68年の社会党の括弧内の議席数は社民党との合計（この選挙でのみ両党合同）
92年総選挙では、共産党は左翼民主党に変わり、北部同盟などの新党が登場。

(2) オランダ

キリスト教政党（KVP→CDA）が常時政権党であり、連立相手が社会民主主義政党（PVDA）になったり、自由主義政党（VVD）になったり、諸小政党（KVVの連立相手の多くは1977選挙からKVVと合同してCDAを創ることになるキリスト教小政党）になったりと替わっていく。政権交替があるとは言い難い

表24 オランダの政権交替

1946-48	KVP + 社民の2党連立	首相	KVP
1948-52	KVP + 社民 + VVD + 1小政党の大連立	首相	社民
1952-58	KVP + 社民 + 2小政党の連立	首相	社民
1958-59	KVP + 2小政党の連立	首相	KVP
1959-65	KVP + VVD + 2小政党の連立	首相	KVP
1965-66	KVP + 社民の1小政党連立	首相	KVP

「西欧」各国での比例代表制と政権交替

1966-67	KVP + 1 小政党連立	首相	キリスト教系小政党
1967-71	KVP + VVD + 2 小政党の連立	首相	KVP
1971-73	KVP + VVD + 3 小政党の連立	首相	キリスト教系小政党
1973-77	KVP + 社民 + 他の 3 小政党の連立	首相	社民
1977-81	CDA + VVD の連立	首相	CDA
1981-81	CDA + 社民 + 1 小政党の連立	首相	CDA
1981-82	選挙管理内閣		
1982-89	CDA + VVD の連立	首相	CDA
1989-94	CDA + 社民の連立	首相	CDA
1994-98	社民 + VVD と 1 小政党の連立	首相	社民

表25 オランダの選挙結果（下院）

	1956	59	63	67	71	72	77	81	82	86	89	94	98
社会民主主義政党	50	48	43	37	39	43	53	44	47	52	49	37	45
キリスト教政党	49	49	50	42	35	27	49	48	45	54	54	34	29
キリスト教小政党 1	15	14	13	15	13	14							
キリスト教小政党 2	13	12	13	12	10	7							
自由主義政党	13	19	16	17	16	22	28	26	36	27	22	31	38
他の政党計	10	8	15	27	37	37	20	32	22	17	25	48	38

(3) ベルギー

キリスト教政党 (CVP + PSC, 下表では CVP と表記), 社会民主主義政党 (BSP + PSB, 下表では BSP と表記), 自由主義政党 (PVV + PRL, 下表では PVV と表記), この三つの主要政党があるが, キリスト教系政党は殆どの時期首相をだし政権の中心にいる。このキリスト教政党の連立相手が, 時期によって社会民主主義政党となり, また自由主義政党となり, 入れ替わっていく。政権交替しているとは言い難い。

表26 ベルギーの政権交替

		首相
1945-45	BSP + CVP + PVV3党連立	BSP
1945-47	BSP + PVV 連立またはBSP単独	BSP
1947-49	BSP + CVP 連立	BSP
1949-50	CVP + PVV 連立	CVP
1950-54	CVP単独	CVP
1954-58	BSP + PVV 連立	BSP
1958-58	CVP単独	CVP
1958-61	CVP + PVV 連立	CVP
1961-66	CVP + BSP 連立	CVP
1966-68	CVP + PVV 連立	CVP
1968-73	CVP + BSP 連立	CVP
1973-74	BSP + CVP + PVV3党連立	BSP
1974-77	CVP + PVV 連立	CVP
1977-81	CVP + BSP 連立	CVP
1981-88	CVP + PVV 連立	CVP
1988-98	CVP + BSP 連立	CVP

時期によっては、他の小政党が連立に加わっていることがある。ベルギーの政党は複雑であり類型化には問題があるが基本的には下記を参照した。

V.E.McHale, ed., Political Parties of Europe.

C.Cook and J.Paxon, European Political Facts.

J.Lane, D.McKAY and K.Newton, Political Data Handbook.

表27 ベルギーの選挙結果（下院）

	1946	49	50	54	58	61	65	71	74	77	78	81	*	95
キリスト教系	93	105	108	95	104	96	77	67	72	80	82	61		41
社会民主主義系	69	66	77	86	84	84	64	61	59	62	58	61		41
自由主義系	17	29	20	25	21	20	48	34	30	33	37	52		39
他の政党計	23	12	7	6	3	12	23	50	51	37	35	38		29

(紙幅の都合上一部省略*)

「西欧」各国での比例代表制と政権交替

類型V

小党分立の下での多様な連立形態のために政権交替しているのかいないのか判断しにくい類型

(1) フィンランド

表28 フィンランドの政権交替

	首相	左同盟	社民	中央	スウ	国民	他
1945-46	Ind	5	4	4	1		1
1946-48	左同盟	6	5	5	1		
1948-50	社民		all				
1950-51	中央党			10	3		2
1951-53	中央党		7	7	2		1
1953-53	中央党			8	3		
1953-54	Ind				2	4	3
1954-54	スウ		6	6	1		
1954-56	中央党			7	6		
1956-57	社民		6	6	1		1
1957-57	中央党			6	3		3
1957-58	Ind			4			
1958-58	Ind			5			5
1958-59	社民		5	5	1	3	1
1959-61	中央党			14	1		
1961-62	中央党			14			
1962-63	中央党			5	2	3	2
1963-64	Ind		1				
1964-66	中央党			7	2	3	3
1966-68	社民	3	6	5			1
1968-70	社民	3	6	5	1		1
1970-70	他		4	3	1	1	1
1970-71	中央党	3	5	5	2		2
1971-72	他		3	4	1	1	1
1972-72	社民		all				
1972-75	社民		7	5	2		1
1975-75	社民		5	3	1	1	1
1975-76	中央党	4	5	4	2		1
1976-77	中央党			9	3		3
1977-78	社民	3	4	5	1		1

1978-79	社民	3	4	5			2
1979-82	社民	3	5	6	2		
1982-82	社民	3	5	6	2		
1982-83	社民		8	6	2		
1983-87	社民		8	5	2		2
1987-	国民連合		8		2	7	1

(以下省略)

上記の表の中の数字は各政党所属閣僚数。無所属の閣僚数は除く。

allは単独政権。中央は中央党、社民は社会民主党 他は他の小政党

スウはスウェーデン人民党、国民は国民連合、Indは無所属。

フィンランドの主要な政党の数は4であるが、政権の形態は時期によって異なり、単独政権、主要な2政党の連立、主要な3政党の連立、そのそれぞれの連立にスウェーデン人民党が加わることが多く、極めて多様である。

表29 フィンランドの選挙結果(一院制)

	1945	48	51	54	58	62	66	70	72	75	79	83	87	91	95
国民連合党	28	33	28	24	29	32	26	37	34	35	47	44	53	40	39
中央党	49	56	51	53	48	53	49	37	35	39	36	38	40	55	44
社民党	50	54	53	54	48	38	55	51	55	54	52	57	56	48	63
左同盟	49	38	43	43	50	47	41	36	37	40	35	27	16	19	22
スウェーデン人民党	14	14	15	13	14	14	12	12	10	10	10	11	13	12	12
その他の政党計	10	5	10	13	11	16	17	27	28	22	20	23	22	26	20

以上